



工事情報

## 和食ダム付替村道 着々と延伸

コンクリート打設 進捗率 約31% (3月末時点)



左岸\*からみたダムサイト (H28.3.23)



付替道路整備状況 (H28.3.23)

※河川を上流から下流に向かって眺めたとき、右側を右岸、左側を左岸と呼ぶ (川の流れる方向 → )

和食ダム本体建設工事では、引き続き堤体コンクリートの打設を中心に施工が進められています。3月末時点におけるコンクリート打設の進捗率はおよそ31% (全コンクリート体積64千m<sup>3</sup>に対して、20千m<sup>3</sup>打設完了) となっています。

また、ダム貯水池内に沈む道路 (村道) の付替工事については、3月末時点でおおよそ1,450mが完成し、終点まで残り135mとなりました。平成28年度末には、舗装工事を除く全区間の付替道路工事が完成する予定となっており、和食ダムの事業完成に向けて着々と整備が進められています。

## 和食ダム 定礎式を挙行

官公庁関係者・国会議員・地元関係者など約100人が出席



瓜生谷地区関係者によるくす玉開放



尾崎高知県知事、竹内芸西村長  
芸西小学校児童との記念撮影



本体工事JV職員等による礎石搬入

芸西小学校児童による  
メモリアルストーン配置

和食ダムでは1月30日、ダムの本格的な築造に際し、清められた礎石をダム本体に納め、ダムの永久堅固と安泰を祈願する行事「定礎式」が行われました。式典当日は尾崎高知県知事や竹内芸西村長をはじめ、国、県、村、地域の方々、工事関係者などが出席し、工事の安全と円滑な進捗を祈念しました。狭い会場内ではありま

りましたが、御輿を担ぎ礎石を搬入する行事などが目と鼻の先で行われ、臨場感あふれる式典となりました。



